



波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター

〒213-0033 川崎市高津区下作延 5-11-8

E-mail support0731@luck.ocn.ne.jp

URL <http://www.kks-support.sakura.ne.jp/>

授業力を学ぶ



平成27年度 輝け☆明日の先生の会

平成27年度「輝け☆明日の先生の会」が川崎市総合教育センターを会場に開催された。募集定員は70名であるが、昨年度を上回る120名の教員志望者が集まった。

5月9日(土)を皮切りに9月26日(土)まで7回にわたって開催される。第1回目は、開講式に引き続き教育委員会総務部教育改革推進担当佐藤裕之部長による講話が行われた。

教育に関する様々な課題を知り、その課題にどのように対応しているのかを具体的に学ぶ場である。サポートセンターはこの事業の主管として、教員養成の専門性を発揮している。



平成27年度より、サポーター登録は単年度とし、学習支援サポーターの意識改革を図った。また、年4回実施のサポーター研修会も2回の悉皆研修とし、前後期からそれぞれ選択する。

特別支援関係は牧田好央、教育活動支援は相川博史がそれぞれ担当し、事務関係を長澤よし子、高橋孝子が担当している。

事務室にかかる電話の7割はサポーター面接、学校からの問い合わせ、教育員会との連絡調整等サポーター配置事業関係である。繁忙期の4月・5月を終えたお二人の表情を掲載した。

サポーター472人学校配置



特別支援・教育活動支援事業

担当：牧田、相川、長澤、高橋

学習部会・全体会開催



5月20日(水)宮ノ下事務所にて、学習部会全体会が山田実総務課長の進行で開催された。理事長、担当副会長の挨拶の後、本告一生事務局長より児童生徒の個人情報保護と安全対策についての再確認の依頼があった。引き続き青木幸夫学習部長より、個人ファイルについて、学習内容のメモにとどめず学習の状況、学習者との間で話題になったこと、相談担当者に伝えたいこと等を記録するようにとの説明があった。情報の共有化という点で研究につながる重要な取組となる。



石原由美子先生と(英語)



堤 直美先生と(日本語)

1対1による個別指導



山田実先生と(理科・数学)



高橋智恵子先生と(小)

27年 6月の行事予定

日	曜	主な行事
1	月	
2	火	
3	水	研究推進委員会(10時宮ノ下) おもしろ理科教室(15時20分青)
4	木	【事務局会用資料送付】
5	金	(青) ふれあい体験活動①
6	土	(青) エコチャレ ↓
7	日	(青) エコチャレ① 子ども運①
8	月	中原区保護者ミーティング② 会計者担当者会(宮ノ下9)
9	火	
10	水	(青) KYWC
11	木	運営協議会①(14時教育会館) (旭) 読み聞かせ
12	金	事務局会 13時・役員会 15時(教) (南) 子育てサロン
13	土	輝け明日の先生の会②
14	日	
15	月	
16	火	(旭) こども支援定例会議(14:30)
17	水	学習相談部会(10時宮ノ下) (山) 子ども探検クラブ おもしろ理科教室(15時20分)
18	木	(南) 情報交換会②
19	金	(山) 企画展①
20	土	不登校・特別支援意見交換会(宮ノ下)
21	日	
22	月	
23	火	不登校対策2-① (旭) 読み聞かせ
24	水	(旭) 茶道
25	木	(青) KYWC
26	金	
27	土	輝け明日の先生の会③
28	日	
29	月	
30	火	

宮ノ下事務所には、小学生13人中学生41人が児童生徒が通所している。「子たちに力を」をモットーに、学校に行きたくても行けない子、学習について行けない子、特別な支援を必要とする子に担当の支援者が付き、1対1対応できめ細かな指導が行われている。

編集後記

認定NPO法人申請の期日が迫っている。5月27日(水)に、これまでの準備内容と本提出にあたっての諸注意を伺いに市役所担当部署に出向いた。前回の申請時の問題点を改善し(給与の銀行振込制、賛助金の納入方法、健康診断の結果報告等)詳細に説明した。担当部署職員からは「是非ともNPOサポートセンターに認定取得してほしい」という気持ちが伝わってきた。その裏側には、完璧な書類の提出を求めていることが見え隠れする。認定を受けるための関門としてではなく、認定を受ける本質として改善に取り組んできた担当者の努力は協賛に値する。